



第6学年 総合的な学習の時間『バスDGsを実現しよう』

【兵庫県西宮市立北六甲台小学校 第6学年担任 教諭 箱根正斉】

1. 西宮市の北部と南部を繋ぐ「さくらやまなみバス」

本校は、西宮市の北部にあり武庫川の支流にあたる有馬川をはじめ豊かな自然環境が地域に残っている。地域には、西宮市の北部と南部をつなぐさくらやまなみバスが走っている。さくらやまなみバスは、北部地域の住民の思いを実現する形で、2009年4月より運行が始まった。西宮市の北部地域と南部地域をつなぎ、高校に通う学生や南部にある市役所や都心に出るための重要な公共交通機関となっている。このさくらやまなみバスは、近年、コロナ禍の影響を受けて乗客数が減少しているという現状がある。

2. 総合的な学習の時間「バスDGsを実現しよう」単元のねらい

本年度の6年生は、総合的な学習の時間において、さくらやまなみバスを教材として、乗客数を増やすことを目的として活動に取り組むこととした。さくらやまなみバスの乗客数を増やすために、北部地域(北六甲台や山口町)にバスの存在を知ってもらうことや、現状として西宮市の税金を使って運行していることを伝える活動を行う。また、北部地域の魅力を伝えることで、自分たちの住む地域の魅力を再認識することができる。

地域に走るバスという教材を通して、誰もが過ごしやすく優しい地域社会の形を考え、持続可能な社会の実現に向けて考えることをねらいとしている。

3. 実際の活動

(1) さくらやまなみバスを「知ってもらおう」大作戦

—さくらやまなみバスに乗り、南部にちらしを配る活動—

西宮市の北部地域から南部地域へさくらやまなみバスのちらしを配り、「知ってもらおう」活動を行った。さくらやまなみバス沿線の小学校や中学校、高校にちらしを配った。さらに、西宮北口駅でも、さくらやまなみバスのちらしを配り、PRを行った。

(2) さくらやまなみバスに「乗ってもらおう」大作戦

活動後、今後どうやって乗客数を増やし、赤字を減らすか話し合った。さくらやまなみバスに乗ることで、メリット、デメリットも知った。赤字をなくすために、乗客数を増やすためにどうすればいいか話し合った。さらに、市役所の方の協力を得て、市民祭りですらったアンケートをもとに、乗客数を増やすための活動について話し合った。

4. 今後の活動

今後は、さくらやまなみバスに乗ってもらい、乗客数を増やす活動に取り組んでいく。

5. 子供の学び

授業における子供の話し合いの中で、以下のような意見が出た。「乗らない人はそのまま乗らなくてもいいのではないか。そういう人は、実際に困ってないから、無理やり乗ってもらう必要はないと思う。」公共交通とは何か、税金の使い道として、どのように使うのか考えるきっかけとなった。

バスがなくなると、困る人が出てくる。必ずしも必要という子供（人）ばかりでないが、バスを必要としている人がいるから、地域の公共交通機関がある。自分たちは、大人になると税を納める。その税の使い道について、自分たちの体験や活動から実際に考えることで、社会をより良くするための第一歩となると考える。


今後の目標として、地域を走るさくらやまなみバスを含む公共交通の在り方について、子供たちが切実に課題解決に向かう活動を通して、たくさんの情報から、バスをはじめとする公共交通の意味や価値を知り、誰もが幸せにくらすために、どのように税金を使えばいいか、また、自分自身どのように行動したらいいか考えることのできる、そのような一人の自立した大人への子供の成長を目指し、授業に取り組んでいきたい。



西宮市南部でのびら配りの様子



みなさ〜ん！ 公共交通機関を使いませんか？



みなさん、公共交通機関をよく使っていますか？僕はよく使っています。
皆さんに公共交通機関を使ってほしい理由は2つあります。
1つ目は環境問題を抑止できる可能性があるからです。
今、「え、バスは普通のエンジンのくせして何言ってんだよ」と思った方もいらっしゃるかもしれませんが、
しかも、本当に抑止できる可能性があります！
皆さんが車に乗ると空気がおどるからではありません。
ですが、その車に乗っている人が全員バスや電車に乗るとその分空気が減ります。
そうすると空気が減っているときにやる排気ガスが減少し、温室効果ガス削減が可能になります！
しかも、阪急バスは電気バス、神姫バスはハイブリッドバス、さくらやまなみバスは新燃費車両と
できるだけ環境に良いエンジンのバスを使い取り組みをしています。
2つ目は公共交通機関が現在、赤字決算が出ている会社が多数あります。
1例としてさくらやまなみバスが挙げられます。
さくらやまなみバスは整備が払って頂いた現金で何とかな存続しています。
が、今後、西宮市立甲山高校が無くすることに加え、コロナ禍ということもあり、5年後ぐらいにはバスが
無くなっているかもしれないのです。
私たちが住んでいる場所は、西宮市北部の北六甲台（興林寺や堀本宮神社よりもっととの三田より）
に住んでいるのですが、このバスがなくなると南部と北部を直線接続するバスがなくなってしまうです。
これは阪急バスでもいえる事です。有馬温泉〜御神所線の駅はほとんど乗客が乗っていません。
そのせいで冬期運休の1時間に1本しかありませんこれ以上バスや電車が減るとその定めている
地域の方が不便になってしまいます。

是非、御協力をお願い致します。

西宮市立北六甲台小学校6年3組児童 一岡

さくらやまなみバス
今、さくらやまなみバスは赤字です。
乗客が少ないです。
北六甲台小学校の6年生、私たちは
乗客数を増やすために色々な事を
考えています。
そこで、さくらやまなみバスに乗らない
人は、乗る目的がなくて来ているの
思いました。でも、乗って行きたい！
と思える場所もたくさんあります。
目的で言うと、酒蔵リが海部平、西宮徳台跡
が甲山、朝血散東がパークスバットめくりが
できます。
他にも色々な、行く目的があります。
車より環境にやさしい、安いさくらやま
なみバスに乗って出かけしてみたい
です。
西宮市立 北六甲台小学校

公共交通推進を呼びかけるちらし（児童作成）



さくらやまなみバス推進協議会
(北六甲台小学校・市役所・地域・阪急バスの4者で会議を行った様子)